

68th

Business Report

株式会社クレディセゾン 営業のご報告

2017年4月1日～2018年3月31日〈第68期〉



プラス

+Shift「これまでの強み」&「新たな強み」



株主の皆様へ

第68期(2017年4月1日～2018年3月31日)決算につきまして、ご報告申し上げます。「Neo Finance Company in Asia」を経営ビジョンとして掲げた中期経営計画の2年目となる当期は、成長スピードをさらに加速いたしました。当社の経営理念である「サービス先端企業」のもと、モバイル決済をはじめとしたカードレス決済への対応や「永久不滅ポイント」の付加価値を高めるなど、お客様のニーズや利便性にフォーカスした商品・サービスの提供に努めるとともに、日本で培ったノウハウを活用して広義のアジア圏内のリテール金融ビジネスの拡大に取り組みしました。

成長機会の創出に向けた取り組みとして、2017年11月に共同基幹システムの運用を開始いたしました。また、2017年9月には、複数の分類されている社員区分を撤廃し、全員を無期雇用としたうえで、賃金を含むすべての制度を統一する「全社員共通人事制度」を導入いたしました。このほか、当社ブランドの認知拡大に向けて、当社グループ社員によるグループ「東池袋52」を結成するなど、独自のプロモーション施策に取り組みしました。

決済プラットフォームの拡充を目指し、2018年1月には、(株)Origamiと協業しQRコードによるスマートフォン向け決済サービス「セゾンOrigami Pay」「UC Origami Pay」を導入いたしました。一方、リース・信用保証・フラット35・資産形成ローンなど従来のファイナンス商品を推進したことに加えて、新たに家賃保証事業に参入するなど収益の多角化に挑戦いたしました。さらに、ベトナム、シンガポールなど将来のビジネスチャンス拡大に向けて積極的に先行投資を実施してまいりました。

これらの結果、当期における業績は、連結営業収益2,921億83百万円(前期比4.7%増)、連結経常利益567億17百万円(前期比6.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益383億29百万円(前期比9.3%減)となりました。

今後も、社員一人ひとりが情熱を持ってチャレンジを続けるイノベティブな企業体へ変革するとともに、女性活躍をはじめとするダイバーシティ&インクルージョンを強く推進してまいります。そして、Environment(環境)・Social(社会)・Governance(ガバナンス)を意識した経営を実践し、これまでよりも便利で豊かな社会の発展に寄与することで、当社の持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、セゾンカードとUCカードのご利用とともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年6月

代表取締役社長 林野 宏

photo by Motoyuki Ishibashi

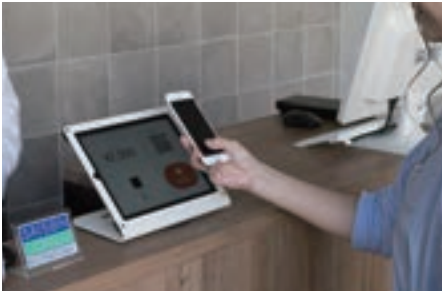
中期経営ビジョン「Neo Finance Company in Asia」

当社は「サービス先端企業」として顧客ニーズに対して最適なソリューションを提供し続けることによって、永続的に成長できる企業に生まれ変わります。危機感を持ち、今までの延長線上ではなく、イノベーションにより既存のビジネスモデルを変えることで、競争力を確保し、「アジアにおいて他にない新たなファイナンスカンパニー」に挑戦します。



Payment Business

先駆的決済プラットフォームの構築



プレミアムカードの「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」や「三井ショッピングパークカード《セゾン》」など提携小売業店舗と一体となった会員募集の推進に加え、ビジネスをサポートする法人・個人事業主向けカードの会員募集を強化した結果、カード総会員数は、2,695万人（前期末差48万人増）となりました。さらに、「Apple Pay」の登録・利用施策の強化、各種プリペイドカードの継続推進に加え、2018年1月より、新たな決済手段として(株)Origamiと協業したQRコードによるスマートフォン決済サービス「セゾンOrigami Pay」「UC Origami Pay」を導入し、キャッシュレス化に向けた取り組みを強化いたしました。結果、ショッピング全体の取扱高は4兆6,830億円（前期比4.6%増）となりました。また、2017年11月から運用開始した共同基幹システムを活用し、お客様のニーズにお応えしたサービスの提供による顧客満足度向上と、さらなる成長機会の創出に向けて取り組んでまいります。

企業規模・ニーズに合わせたソリューション提供

クラウド型経費精算ソリューション「SAP Concur」を提供する(株)コンカー等と営業連携し、当社コーポレートカードや法人向けカードと組み合わせた経費精算業務の大幅な省力化、また、個人事業主の事業費決済ニーズに対応するビジネスカード「セゾンプラチナ・ビジネス・アメリカン・エクスプレス®・カード」の拡販に取り組むなど、企業規模・ニーズに対する最適なソリューションを提供することで、法人決済市場のキャッシュレス化とバックオフィス業務の効率化に取り組みました。きめ細やかなサービス提供により、法人向けカードの取扱高は前期末比15%伸びました。

Finance Business

リース&レンタル

事業者の設備投資計画にあわせてOA通信機器やLED照明などを中心に「ファイナンスリース」「事業用割賦」「レンタル」を提供しております。強みである審査ノウハウと与信スピードを最大限に活かしながら、既存の主力販売店との共同キャンペーン実施などによる信頼関係強化や、新規重点販売店への営業強化に取り組んだ結果、債権残高は2,954億円（前期末比3.6%増）となりました。今後は、キャッシュレス決済の拡大を踏まえPOSレジ周辺市場などビジネストレンドへの対応や、新規収益の創造に挑戦してまいります。

信用保証

個人向け証書貸付型フリーローンの保証事業を中心に、提携金融機関と営業・管理両面にわたり密接な連携を行い、商品勉強会の実施をはじめ、個人ローンの推進に向けたきめ細やかな連携体制の構築に努めております。事業資金にも広げた「資金使途の汎用性」、WEB上で完結できる「手続きの簡便性」、および「審査回答の迅速性」を兼ね備えたローン商品を通じて、地域金融機関とのきめ細やかな連携体制の構築に努め、提携金融機関405先（前期末差2先増）、保証残高3,424億円（前期末比2.5%増）と拡大しております。

ファイナンス

「フラット35」では、住宅購入時の諸費用の資金ニーズに対応する「セゾンのホームアシストローン」を含めた「住宅ローンパッケージ」として住宅購入をサポートしております。スピーディな審査や、ニーズに応じた柔軟な対応、カード事業で培った安心感が評価され、住宅金融支援機構への債権譲渡済残高は5,934億円（前期末比31.8%増）となりました。また、「セゾンの資産形成ローン」はマーケットニーズに応じた商品性のカスタマイズや勉強会を通じた提携先との連携強化により、貸出残高3,415億円（前期末比57.5%増）となりました。また、2017年7月より家賃保証事業に新規参入し、「セゾンの家賃保証 Rent Quick」の取り扱いを通じて、賃貸から購入までをカバーする生活創造金融サービスの拡充に取り組んでおります。

Asia Business

アジア事業への先行投資の加速

将来の成長基盤の柱として成長著しいアジア圏内において、各国に即したリテール金融ビジネスへの本格的参入を推進しております。ベトナムのHD SAISON Finance Company Ltd.では、二輪車や家電などの個品割賦事業を中心に事業を展開しており、順調に取扱高を拡大し、ベトナム国内での存在感を一層高めることに成功しております。また、クレジットカード事業の新規立ち上げやベトナム事業のさらなる拡大に向け、2017年12月にHD BANKの株式の一部を取得いたしました。さらに、東南アジアにおけるスマートフォンを活用したローン提供を行うデジタルレンディングの開始に向けて、Grab Financial Services Asia Inc.を設立いたしました。今後も、アジア圏を中心としたファイナンス事業の進出拡大に向け、中長期的な海外戦略の基盤づくりと事業展開を推進してまいります。



Internet Business

新たなビジネスの創出に向けて



インターネットを活用した新規ビジネス開発の基盤となるネット会員の増強に努め、ネット会員数は1,501万人（前期末差115万人増）となり、スマートフォン用アプリ「セゾンPortal」「UC Portal」のダウンロード数も伸長し、ネットサービス全般の利用を促進しております。2017年7月には、ポイントモール「永久不滅.com」を「セゾンポイントモール」に発展させ、「永久不滅ポイント経済圏」構築の第一歩とするとともに、スマートフォンユーザーの利便性向上のため、「セゾンポイントモール アプリ」の提供を開始いたしました。また、「セゾンDMP」が保有するビッグデータのさらなる活用を目指し、2017年4月には最新のアドテクノロジーを活用し広告事業を展開する(株)オムニバスの発行済株式100%を取得いたしました。さらに、セゾンカードホームページへAIによる自動応答チャットサービス導入するなど、先進的なテクノロジーを用いて顧客対応の自動化・効率化を進めるとともに、カスタマーサービスの質と顧客満足度向上に取り組んでまいります。

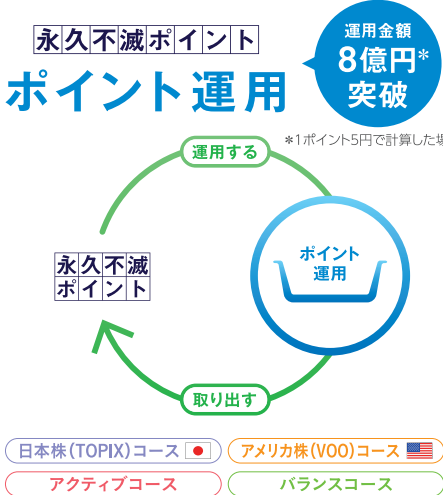
Change for Progress.

Targeting all kinds of corporations and individuals as customers, we will achieve growth while playing a leading role in our ever-changing society by leveraging the combination of our diverse strategic resources.

Investment Business

一人ひとりにお金との付き合い方を提案

2018年3月、「永久不滅ポイント」で長期投資を疑似体験できる「ポイント運用サービス」をよりブラッシュアップした運用プラットフォーム「運用口座」を構築し、毎月一定数の「永久不滅ポイント」を自動で積み立てる「つみたて機能」を搭載した新たなコースを追加いたしました。このサービスは、ポイント残高が実際の投資信託の運用状況に連動し増減する革新性が支持され、利用者13万人、運用金額は8億円を超えており（2018年3月末日現在）、投資入門サービスの一つとして成長しております。また、関係会社であるセゾン投信(株)とマネックス・セゾン・バンガード投資顧問(株)とともに、お客様一人ひとりにマッチした資産形成・資産運用をサポートすることで、お金との付き合い方がより多様で豊かな世界を目指しております。



CSR

当社ならではの社会貢献を実践

2017年7月に発生した九州豪雨災害など、自然災害で被害にあわれた方々への支援を目的とした「永久不滅ポイント」やクレジットカード決済を通じた各種寄付活動を行っております。また、9月には横浜市と「防災・減災普及啓発事業における連携協定」の締結、2018年3月には福島県と「健康増進などに関する連携協定」を締結するなど、地方創生への貢献を目指して、全国各支社が地域に根ざした独自の活動を推進しております。また、赤城自然園運営による環境保存活動やスポーツ・文化活動のサポート、さらに各種教育事業プログラムへの参画を通じ、次世代を担う子どもたちの成長や金融知識の拡充を支援し、激変する金融社会の持続的発展に貢献しております。

Work Life Design

全員が新たな価値提供に挑戦

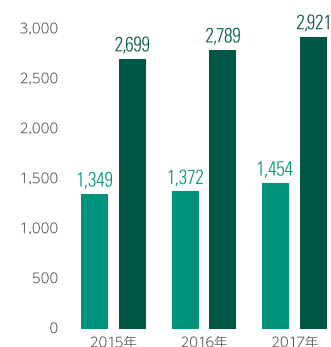


社員が新たな価値提供に積極果敢に挑戦することでイノベーションを起こし、永続的な成長を実現するため、「多様な人材が活躍する環境」「挑戦することが当たり前の風土」の醸成に取り組んでおります。2017年9月には、社員区分を撤廃し、役割に応じた処遇（同一労働同一賃金）の実現、すべての制度を統一した「全社員共通人事制度」を導入し、一人ひとりの能力を最大限に発揮できる環境を整えました。また、女性活躍支援、成長をサポートする自己啓発支援、生産性向上のための働き方改革を進めております。働き方改革では自由な意見交換を促すイノベティブなオフィスへのリニューアル、柔軟な働き方を実現する各種制度（フレックスタイム制、短日短時間勤務制度など）の利用拡大を推進いたしました。さらには、有志社員を中心に構成された部門横断型の活動組織「セゾン・ワークライフデザイン部」では、WEBメディア「SAISON CHIENOWA」の運営やボトムアップ型の働き方改革を推進しております。

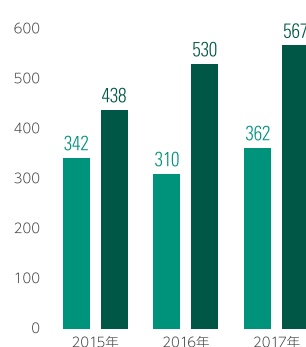
FINANCIAL DATA

経営成績

営業収益



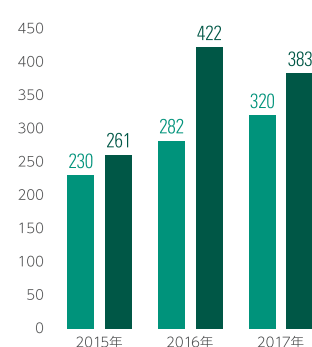
経常利益



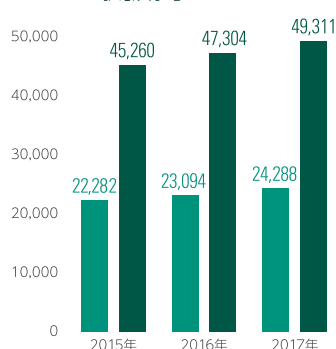
(単位: 億円、万人)

第2四半期 通期

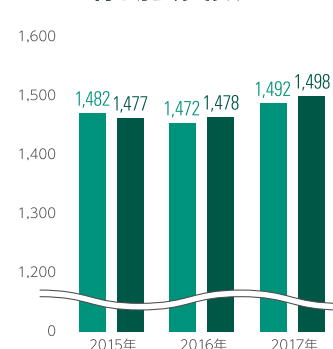
親会社株主に帰属する当期純利益



カード取扱高 (単体)



カード稼働会員数 (単体)



営業収益については、当社グループの商品・サービスを組み合わせ、個人・法人のニーズに応じたソリューション営業を全社一丸となって推進するとともに、先進的なテクノロジーを用いるベンチャー企業等と連携し新たな収益源の創出に向けた取り組みを強化いたしました。「クレジットサービス事業」では、提携先企業と一体となったカード会員募集の推進や提携小売業を中心とした利用活性施策等を推進した結果、ショッピング取扱高は4兆6,830億円(前期比4.6%増)、ショッピングのリボルビング残高は4,142億円(前期末比8.8%増)と順調に推移いたしました。さらに、「ファイナンス事業」では、新たに家賃保証事業に参入したほか、「信用保証事業」、

「フラット35」および「セゾンの資産形成ローン」が収益貢献したことなどにより、営業収益は2,921億円(前期比4.7%増)となりました。営業費用において、カード取扱高拡大に伴う連動費用の増加や共同基幹システムが稼働したことなどの影響により、経常利益は567億円(前期比6.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は383億円(前期比9.3%減)となりました。以上を踏まえ、中期経営計画の最終年度となる第69期の連結業績予想は、営業収益3,110億円、営業利益425億円、経常利益550億円、親会社株主に帰属する当期純利益355億円を見込んでおります。

Supporting Company

クレディセゾンは引き続きサッカー日本代表を応援していきます。

当社は、世界を舞台に飛躍するサッカー日本代表のサポーターカンパニーとして、2001年からその活動を支援しております。また、2014年からはアジアサッカー連盟(AFC)とのスポンサーシップ契約により、近年のアジア地域において絶大な人気を誇るアジアサッカー界も支援しております。永久不滅ポイントの会員様限定アイテムの交換やオリジナルプロモーションなどを通じて、「SAMURAI BLUE(日本代表)」をはじめとした各カテゴリーの日本代表チームを応援するとともに「ハイタッチキッズ」「ウェルカムキッズ」といったユースプログラムを実施し、未来のサッカー日本代表を目指す子どもたちの夢を叶えるお手伝いをしております。

2017年8月31日
対オーストラリア戦 メンバー

クレディセゾンは
サッカー日本代表の
サポーター
カンパニーです。



C O R P O R A T E D A T A

株式の状況

(2018年3月31日現在)

発行可能株式総数:300,000,000株 発行済株式の総数:185,444,772株 株主数:12,850名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	25,984	15.90
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	13,732	8.40
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	7,643	4.68
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	6,275	3.84
HSBC BANK PLC A/C CLIENTS 1	4,818	2.95
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,753	2.30
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	3,637	2.23
資産管理サービス信託銀行(株)(投信受入担保口)	3,370	2.06
(株)みずほ銀行	3,000	1.84
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	2,860	1.75

※1.当社は、自己株式22,033,901株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

※2.持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

会社概要

(2018年3月31日現在)

商 号 株式会社クレディセゾン Credit Saison Co., Ltd.
設 立 1951年5月1日
資本金 759億2,936万円
従業員数 3,297名 他に嘱託、パート・アルバイトの期中平均雇用人員は702名(1日7.5時間換算)
2017年9月16日の人事制度改定により、アルバイトを除く嘱託およびパートの雇用形態を従業員に変更しております。
本 社 〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60・52F
主要な事業内容 ①クレジットサービス事業(クレジットカード事業およびサービサー(債権回収)事業等)
②リース事業(リース事業)
③ファイナンス事業(信用保証事業およびファイナンス関連事業)
④不動産関連事業(不動産事業および不動産賃貸事業等)
⑤エンタテインメント事業(アミューズメント事業等)

役 員

代表取締役会長	前川 輝之	常務取締役	三浦 義昭	取締役	林 郁(社外)
代表取締役社長	林野 宏	取締役	平瀬 和宏	取締役	富樫 直記(社外)
代表取締役副社長	高橋 直樹	取締役	松田 昭博	取締役	大槻 奈那(社外)
専務取締役	山本 寛	取締役	馬場 信吾	常勤監査役	村上 喜堂(社外)
専務取締役	山下 昌宏	取締役	山本 善久	常勤監査役	櫻井 勝(社外)
常務取締役	水野 克己	取締役	武田 雅子	監査役	笠原 智恵(社外)
常務取締役	岡本 龍成				

※2018年3月15日付で常務取締役 清水定氏は辞任いたしました。※2018年3月31日付で取締役 山本善久氏および取締役 武田雅子氏は辞任いたしました。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031(9:00~17:00 土・日・祝日を除く)
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載) <http://corporate.saisoncard.co.jp/>
上場証券取引所 東京証券取引所
証券コード 8253

【株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について】証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出およびご照会、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
【特別口座について】株券電子化前に「はふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様は、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会、上記の電話照会先をお願いいたします。

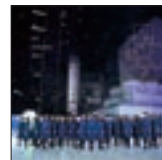


東池袋52

東京・東池袋 サンシャイン60の52階に本社を置く株式会社クレディセゾンおよび関係会社全社員の中から選ばれた、42名の女性メンバーによって結成された「東池袋52」。シングル4枚をリリースし、活動中!

Single 4曲収録

All Seasons Best「人生楽しい人の勝ち」



永久不滅ポイント

200pointで交換できます。

- ▶ 1st わたしセゾン
- ▶ 2nd なつセゾン
- ▶ 3rd あきセゾン
- ▶ 4th 雪セゾン